

( 2022 ) 年度

## 児童館事業年間活動報告書

( 京都市御室 ) 児童館

	活動名	実施回数	参加人数										合計	内 容	成 果 と 課 題
			乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人	ボランティア					
				自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中学生	大学生	大人			
基 本 活 動	(2) 将棋教室	22		17	111	9	2	2	24				165	将棋連盟の方を講師に将棋のルールや楽しさを体験す	将棋に集中できる場所の確保
	(2) 切り絵	24		18	179	9	11						217	カッターを使つての作品作り	実施場所の確保。興味をひく広報
	(2) 工作デー	9		9	70	4	5						88	手作り工作体験	実施回数と内容の精査
	(3) おやつつくるデー	1		3	2	2							7	おやつを作る体験。コロナ禍で中止していたものを再	実施場所の確保と定員
	(3) すいかわりごっこ	1	4	14	5	8	3		9	5	1		49	すいか割りと遊びコーナーを実施	ふれあい食堂とのコラボで実施
	(3) 宿題しようデー	2			14		3						17	夏休の宿題対策として実施。大学生が指導	通年開催には場所の確保が課題
	(3) ブロック遊び交流会	1			3	1	1						5	右京ブロックでの将棋、オセロ大会	コロナ対策で参加制限が強い
	(3) オセロで遊ぼう	2		1	11	1	1						14	ブロックの大会に向けての練習と選手選考の会	落ち着いて取り組める場所の確保
	(3) 絵本委員会	3			7	12							19	利用者アンケートから購入する本を選定し購入する	取組は定着しており参加希望も多
	(3) 謎解き交流会	1		10	2	4							16	法人4館の交流行事としてオンラインで実施	対面での開催希望もある
子 ど も 育 成 機 能	(3) 子ども交流将棋大会	1		2				2				2	2	連盟主催の大会への参加	参加者の励みになっている
	(3) チャレンジランキン	4		4	33	6	15	2				60	記録挑戦の要素を入れた小さなゲームあそび	参加が多く、しきれないことがあった	
	(3) ドッジボール(大会)	6		13	96	29	33					171	ドッジボールの体験と練習	場所が狭くコートが取り切れない	
	(3) やきいも会	1	9	28	2	14	1	4	18		1	77	コロナ禍で中止したものを再開。焼き芋をして食べる	参加が増えた際の焼き芋数の確保	
	(4) うたごえクラブ	24	2	1	214		41		21			279	外部講師。楽器を取り入れた。保護者向け発表会も実	歌の取り組み方	
	(4) 卓球クラブ	23		8	80	37	2		32			159	外部講師。登録者数は少なかったが熱心に参加してい	外部との交流の再開	
	(4) ストリートダンスクラ	48	14	40	293	62	43		62			514	外部講師。まつりでの発表ができた	入部希望が定員を上回っている	
	(5) ミニやんちゃフェス	1			4	2	2						8	オンラインで交流ゲームを実施。9館の参加があった	内容は好評。次回以降の取り組み
	(7) 中学生タイム、中学生会	50				6	2	155					163	利用者の意見を聞きながら実施。ゲーム大会、ごはん	定期利用者を増やすための広報
	(7) 中学生おもちゃ作	1					2		2				2	赤ちゃん交流のために実施	コロナ流行で交流が中止となった
	合 計		29	168	1119	201	177	165	166	5	0	2	2032		
推 進 活 動	(3, 9) 嵐電GO!	3				16	10						26	子どもの発言から実施。歩いて全駅で写真を撮る。	次の企画希望への応え方
	合 計					16	10						26		
子ども育成機能 合 計			29	168	1119	217	187	165	166	5	0	2	2058		

\*注 基本活動は、指針に基づき(2)遊びの教室活動(3)行事活動(4)クラブ活動(5)地域間交流促進活動(6)障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進(7)思春期児童の活動支援に分類して記入すること。  
 推進活動は、指針に基づき(9)地域を知る活動(10)移動児童館活動に分類して記入すること。  
 指定活動は、指定児童館のみ別途報告すること。